

内谷市長の

ゆるやかコラム

「安心・安全に暮らせるまち、
みんなが集えるまちを目指して」

今年は5月に夏並みの気候が続き、白つづじも例年になく早い開花となりました。5月23日に黒獅子まつりが開催され、海外からのお客様もツアーなどで参加されたほか、市内外から多くのお客様が観覧のためにお越しになり、長井のまちなかも大変にぎわいを感じられました。

そんな中、全国的にクマの出没が多発しており、山形県内でも死傷者が出るなど大変心配される状況です。長井市では年間を通し引き続き、猟友会の協力のもとA1つきのモーションカメラによる監視を行っております。今年には昨年の倍となる35基のカメラを設置し、箱罟を設置するなどして、クマのまちへの侵入を防ぐ取り組みを強化しています。また一部の地区ですが、朝の時間帯には赤外線センサー付きのドローンでクマが潜んでいないか、まちに入ろうとしていないか警戒・監視する実証実験を行っております。ある程度の成果を重ねながら、市内全域に警戒網を充実させる取り組みを進めてまいります。

さて、5月は2回にわたり、認知症予防や運動機能向上を目指し、山形県エアロビック協会、株式会社ヤマコーさんの全面的な協力を得て体験会を行いました。参加された皆様からは「これからも続けたい」というお声など大変好評をいただきました。私たちもスポーツと健康の融合をより一層進めていきたいと考えております。

また、5月の中旬には全国中心市街地活性化推進協議会総会が長井市で開催され、中心市街地の賑わいづくりのための施策等について研究や情報交換を行いました。山形県では令和12年まで、駅前通りである長井駅海田線街路整備事業に着手しています。歩道等も広がり、今後5年間は、まち並みが大きく変わるチャンスです。長井駅周辺を市街地再開発の手法で都市機能の充実を図り、小さなお子さんから高齢者まで、まちなかで買い物や食事、集いなどを楽しめる機能を作るため、商工会議所をはじめとする官民連携で進めてまいります。ぜひ市民の皆さんからもご理解、ご協力、またご意見などをいただければ幸いです。